

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回飯塚市子ども読書活動推進計画策定委員会
開催日時	令和3年7月28日(木) 14時00分～15時34分
開催場所	イイツカコミュニティセンター3階 学習室303
出席委員	高田委員、許斐委員、白石委員、林委員、岸野委員 芳野委員 林委員(子育て支援課長)、山下委員(学校教育課長)、梶原委員(教育総務課長)、安藤委員(生涯学習課長) 以上10名
欠席委員	
事務局職員	【教育委員会】二石教育部長、平田生涯学習課長補佐、村岡中央公民館・図書館係長、田中中央公民館・図書館係、江頭中央公民館・図書館係
発言者	発言内容
二石教育部長	<p>1 開式のことば及び資料の確認 事務局より開会を告げた後、資料の事前配布ができなかったことを謝罪し資料の確認を行った。</p> <p>2 教育委員会挨拶 本日は大変お忙しい中、第1回「飯塚市子ども読書活動推進計画」策定委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、皆様には、コロナ禍のこのような状況の中、快く委員をお引き受けくださり、深く感謝申し上げます。</p> <p>さて、この計画につきましては、平成29年度の改定から5年を経過することから、令和4年度から令和8年度までの次期計画の内容を、策定委員会の中で協議していただくこととしております。</p> <p>ご承知の通り、国におきましても「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の中で、そのポイントとして、乳幼児、小学生、中学生、高校生と4つの発達段階ごとの効果的な取組みの必要性が謳われております。この中では小学生の低学年くらいまでは、家庭も含め、読み聞かせや音読の楽しさを知る時期であり、いわゆる「与えられる読書」の時期でもありますが、そのあと、中学年あたりからは「自分で読みたい本」、あるいは「知りたいことを教えてくれる本」を探す、という時期に移行します。</p> <p>また、高校生になりますと、不読率がグンと上がる訳ですが、これは、部活や交友活動、社会活動、そして何と申しましても大学受験の準備に時間を割かれることが大きな要因だと言われております、</p> <p>これら2回の移行期にいかにスムーズに読書活動を継続させるかが、キーポイントであると言われておりますが、これは、おそらく中学校くらい</p>

までに、いかに「良き本」、あるいは、「人生のパートナーとなるべき本」に出会うか、ということではないかと思っております。

ご承知のとおり、スマホの普及はもとより、今年度から市内の公立小中学校にも一人1台のタブレット端末が配備され、こと、「検索機能」に限って言えば、読書離れの最大の脅威とも言えます。しかしこれらを二項対立の関係に置くことなく、うまく融合させることによって、読書が自分の人生を豊かにし、時には支えてくれる存在になると、子どもたちは思ってくれるのではないかと、感じております。

一朝一夕で解決する内容ではございませんが、学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの将来に少しでも役立つよう、限られた時間ではありますが、ぜひ、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見を頂くことをお願い申し上げまして、ごあいさついたします。

本日は最後までよろしく願いいたします。

3 委嘱状交付及び委員紹介

(1) 委嘱状交付及び委員紹介

(本来ならば委嘱状は手渡しで交付するが、今回は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、机上に用意した。)

(2) 委員長、副委員長の選出

立候補者なし。⇒事務局提案(異議なし)

委員長に岸野委員、副会長に高田委員を事務局が提案する。

⇒異議なし。

岸野委員長、高田副委員長あいさつ

4 議事(報告・協議事項)

以降の進行は会長が行う。

中央公民館・図書館係長

(1) 飯塚市子ども読書活動推進計画(案)序章1P～3P(新旧対照表)について

序章 これまでの取り組みの成果と課題(平成29年度から令和3年)について、新旧対照表を用いて説明

1 5年間の取り組みの成果について各事業ごとに説明

(1) 家庭・地域における読書活動の推進

(2) 保育所・認定こども園における読書活動の推進

(3) 学校における読書活動の推進

(4) 市立図書館における読書活動の推進

2 今後の課題

委員 A	<p>【意見】</p> <p>P 1 ブックスタート事業の充実のところだが、誤字がある。</p> <p>P 2 令和 2 年度の団体貸出数の記載があるが昨年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で例年より大きく減少している。過去 5 年間の数値も記載していただきたい。他の事業も同様である。</p>
中央公民館・図書館係長	ご指摘のとおりである。次回までに訂正を行う。
委員 B	<p>先ほども委員が意見されたが、新型コロナウイルスによる影響について明記する必要があると思う。でなければ令和 2 年度の成果がなぜ例年より落ち込んでいるのかが説明できない。</p> <p>P 1 の「保育所・認定こども園における読書活動の推進」だが、年々公立の保育所・認定こども園の数は減少している。今回の成果については私立の保育所・認定こども園に通う幼児期の読書環境は不明なので検討の必要があると思う。</p>
中央公民館・図書館係長	ご指摘のとおりである。私立に通う幼児期の方についても調査手段等を検討する。
生涯学習課長補佐	<p>補足説明</p> <p>本調査については、私立を含んでおり調査データとしては生涯学習課も把握をしている。今後は、私立のデータも反映し市全体の成果として記載させていただく。</p>
委員 C	冒頭の指摘にもあったが、統一的な考え方の整理をしたい。項目によって、令和元年度の成果や令和 2 年度の成果が記載されているので全体をとって統一しわかりやすく記載していただきたい。
中央公民館・図書館係長	ご指摘のとおりである。統一した記載とする。
委員 A	P 1 「子育て支援センター」と「児童センター」という記載があるがこれは別の施設を指しているとの解釈でよいか。また、全施設とあるが具体的な数はわかるか。
中央公民館・図書館係長	児童センターとは児童クラブのことである。市内 19 か所あるが記載方法等は改めて検討し訂正する。

委員D	資料について当日配布となったことについて謝罪があったが、今後は必ず事前にいただきたい。いきなり新旧対象表を見せられてもこの場で細かく分析することはできない。
中央公民館・図書館係長	ご指摘のとおりである。深く反省し、次回以降は効率よく本委員会が開催できるように事前準備を行う。質問票を準備しているので、閉会後も一定期間質問や意見を受け付ける。大変申し訳ないが、記入したら生涯学習課に提出していただきたい。
委員A	新旧対象表の活用は見やすく良いと思う。しかし、段がずれると非常にわかりづらいので調整した方が良いと思う。
中央公民館・図書館係長	ご指摘のとおりである。
委員C	今回の取組みの成果と課題とあるが、成果については整理されているが、課題について整理されているか疑問がある。また、P 2③に「研修を年数回行っている。」と記載されているが具体的な回数を記載した方が課題の分析にもつながるのではと思う。回数が少ないのであれば増やすなど。
中央公民館・図書館係長	課題について、より分析したいと思う。回数については、各学校での研修回数が異なり表現が難しい箇所もあるが再度見直しを行う。
中央公民館・図書館係	(2) 小・中学生を対象とした読書アンケート集計結果について 資料を用いてアンケート集計結果について説明
委員A	【意見】 このグラフはこのまま掲載をするつもりなのか。 設問によって、統一感がなく見にくいと思う。例えば問1は中学生からグラフを掲載しているが、問10は小学生から掲載している。
中央公民館・図書館係	今回は、策定員会用にあえて前回のグラフをそのまま使わせてもらっている。ご指摘のとおり、設問によって掲載方法が違う箇所があり見づらい箇所がある。だれが見てもわかり易いグラフとなるよう検討させていただく。
委員E	アンケートについては、数だけの分析ではなく、何故そうなったのかを検討しなければ次に生かせないと思う。例えば、問6での分析に学校での取組みが適正に行われているとあるが、取組みの内容等が不明確である。また、本アンケートに関して図書館の利用者は、図書館で読書することが前提の

生涯学習課長補佐	<p>調査であるのか。学習室目的の子が多いと耳にしたことがあるが。最後に、問11の説明の中で、本を読む時間がないのは塾などの習い事に通っているからではないかとのことであったが、その根拠等があれば教えていただきたい。</p> <p>今回、説明したデータを今後どのようにして使用するのだが、序章における5年間の取り組みの成果での使用や次回以降で皆さんと作成していく予定としている飯塚市の「子ども読書活動」の現状についての章において更に分析を深めて掲載することとしている。先ほどの意見については、その際にもう一度精査させていただきたい。今回はあくまでこのような数字となったという結果だけをお伝えしている。もちろん、率直な意見をいってもらうことで我々が分析できていないことを表面化できるので意見を伺いたい。なお、図書館の利用に学習室を含んでいるのかという質問だが、今回は設問にないため学習室目的かは不明である。推測ではあるが、問9の飯塚市立図書館を利用した目的はどれですかの無記入に含まれているのではと考えている。</p>
中央公民館・図書館係	<p>問11の説明だが、国が作成している第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の概要の資料に放課後の時間の使い方に関しての報告結果を参考にさせてもらったが、委員の指摘のとおり飯塚市についての根拠とはならず、個人的な見解を含んでしまっていたので訂正させていただく。今後は、根拠に基づく分析結果を報告させていただく。</p>
生涯学習課長補佐	<p>(3)「飯塚市子ども読書活動推進計画(改定)」策定スケジュール(案)について 資料を用いてスケジュール(案)について説明 【意見なし】</p> <p>(4)その他 【意見】</p>
委員F	<p>小さな子どもがいるご家族に図書館に行ったことがあるか質問するとないと答える方もいる。赤ちゃんでも利用カードは作成できることを伝えると、驚かれることがあった。小学生未満の子どもがどのくらいカードを作っているのか。また、割合としてこの数年間でどのくらい増えているのか。このようなことも家庭や地域における読書環境の指標とならないだろうか。</p>
生涯学習課	<p>統計で割合を出すことは可能であるので、次回以降お伝えする。</p>
委員F	<p>実数よりも割合で掲載したほうが見やすいと思う。ぜひグラフ等で掲載してもらいたい。</p> <p>閉会 15:34</p>

<p>会議資料</p>	<p>当日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 飯塚市子ども読書活動推進計画（案）序章 1P～3P（新旧対照表） ・ 小中学生を対象とした読書アンケート集計結果 ・ 「飯塚市子どもの読書活動推進計画（改訂）」策定スケジュール（案）
<p>公開・非公開の別</p>	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開 （傍聴者 0人）</p>
<p>その他（非公開理由等）</p>	